

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	熊本市家庭教育支援チーム “マスタース熊本” (呼称: 特定非営利活動法人 教育支援プロジェクト・マスタース熊本) URL: http://masterskumamoto.jimdo.com/
活動開始年度	平成19年度
活動拠点	熊本市(市民活動支援センター・あいぽーと)
活動範囲	熊本市内
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (会費、寄付金、事業収益等)
組織体制	<u>25</u> 人 元校長 7 元教員 2 元公立幼稚園長 3 税理士 1 保育士 1 防災士 1 建築業 1 学童保育経営者 1 ピアノ教師 1 主婦 2 会社員 3 スイミング指導者 1 キャリアカウンセラー 1 (現役職等: 自治会長 3 民生委員 2 人権擁護委員 2 保護司 1 文化財保護委員 1 私立中学講師 1 PTA 役員 3)
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ①地域の小中学校において、丸付け等の 学習補助支援活動 を行い、先生方の負担軽減に寄与している。更に幼保小における特別な支援を要する子どもへの寄り添い支援も行う。また、地震後の人権を考慮した防災教育の出前講座も実施している。 ②平成 20 年 10 月から現在まで、子育てに関する悩みや課題について、助言者の進行のもと、参加者自らが体験を語り、聴き、気づき、考える「 子育てトークの会 」を毎月開催し、家庭教育支援活動の柱としている。また、発展的な取組みとして、春休みや夏休みに、親子参加型のイベントを開催し、家庭教育力の向上を図っている。

③平成 25～28 年度の 4 カ年にわたり熊本市家庭教育協働事業「**家庭教育地域リーダー養成講座**」を受託(講座の企画・広報・運営等)し、地域で家庭教育を支援する家庭教育地域リーダーの輩出に寄与している。更に、29 年度は、すでに活躍している地域リーダーのスキルアップのため**公民館講座**を実施している。



家庭教育リーダー養成講座開講式全体写真



家庭教育リーダー養成講座の様子



子育てトークの会の様子



公民館講座の様子

活動の成果

①熊本市からの活動助成金が得られたので、学習補助支援活動を行う会員を増やすことができ、これまで以上に多くの学校の要望に応えることができるようになり、活動回数も増やすことができるようになった。

②保護者への支援として開催してきた「子育てトークの会」は丸10年を迎えた。参加者から「他の家庭の子育て法が非常に参考になる。」「講師の講話内容を活かすことができた。」「自分の子育て観が変わった。」などの感想を聞くことができ、これまでの活動の成果が感じられ嬉しく思っている。今後も継続していきたい。

③家庭教育地域リーダー養成講座を受託実施し、4 年を経たところである。くまもと「親の学び」プログラムに焦点を当て、ファシリテーション力を高め、足腰の強いリーダー育成を心がけて来た。行政(市)の適切な支援もあり、地域の家庭教育支援を担うリーダーとして、実際に活動を始めた受講者もあり、確実に人材が育っていることを実感している。更に、29年度は、リーダーのスキルアップのための公民館主催講座に発展した。それが更に各地区の公民館からの要請につながってきており、手応えを感じている。

<p>活動において苦労した点や課題</p>	<p>①学校支援に関して、今年度大幅に改善を図ることができたが、まだ学校の支援要望に対して、会員数と予算面で十分に対応できていない。</p> <p>②子育てトークの会については、新しい参加者を増やすなど横への広がりを工夫していく必要がある。</p> <p>③家庭教育リーダー養成講座については、受講に対する参加者の満足度は高いが、受講後の実働面に生かしている者は少ない。地域リーダーとして、実際に活動できる人材を今後も更に増やしていきたい。</p> <p>また、テーマ設定・講師選定・講座の流し方等を工夫し、実際の場面にできるだけ直結するようにしていきたい。</p> <p>講座の参加者募集(人集め)には、工夫と努力が必要である。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>○何をするにも、活動財源の確保が必要である。培ってきたノウハウを生かし、会員の活動が収入につながる分野を開拓していきたい。</p> <p>○現在、我々NPOの学校・園、保護者、地域リーダーを対象とする「点」としての教育支援活動が、今後、線となり面となって広がっていくことを目標に努力を続けたい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>(TEL)096-366-1628 (理事長 石井 憲子)</p> <p>(E-mail) ste00563@hotmail.com (事務局長 沼垣堅基)</p>